

## 春を告げる花 「節分草」

セツブンソウ。旧暦の節分の頃に花開く、春を告げる花です。

草刈りをしないと咲かない花です。自然と人間が一体となって咲かせる花です。これからの里山を楽しむ町総領町と自然と人間の関係を象徴する花です。

《日本一のセツブンソウの自生地・総領町》を目指してみなさんと一緒に育てていきたいと思ひます。

ぜひご支援ください。



佐藤悦雄さん(岡山県)

## NPO法人節分草保存会の活動

1996年、節分草の保存・育成を目的として有志6名で結成し、自治体などからの支援は受けず、資金持ち寄りで種子の採取や栽培、自生地の草刈りなどの保存活動を始めました。2年後の1998年には節分草の栽培技術を確立させ、それ以降は節分草の実生で栽培を行い、2005年には組織を任意団体からNPO法人としました。

主な活動は、節分草の普及宣伝・研究・自生地の管理・公開地の整備などですが、他にも花守り(はなもり)というボランティアガイドの育成や新たな会員の募集など様々な取り組みを行っています。

## セツブンソウ生態図



⑤果実(袋果)  
開花後2週間程度



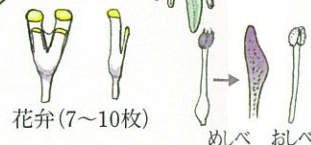
⑥熟した果実  
(3~5粒)



⑦熟した果実  
(3~5粒)



⑧種子



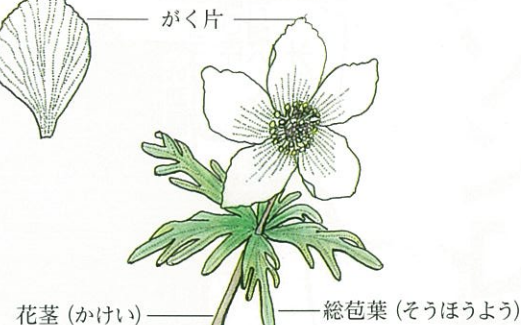
花弁(7~10枚)

めしべ おしべ



## 開花時期の様子

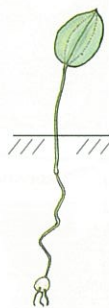
概ね原寸大



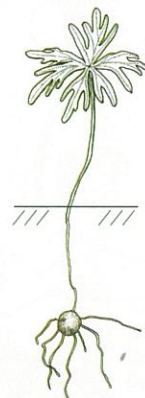
花茎(かけい)

総苞葉(そうほうよう)

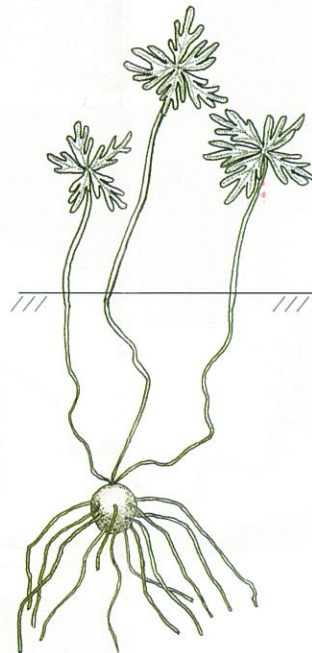
葉(根生葉)



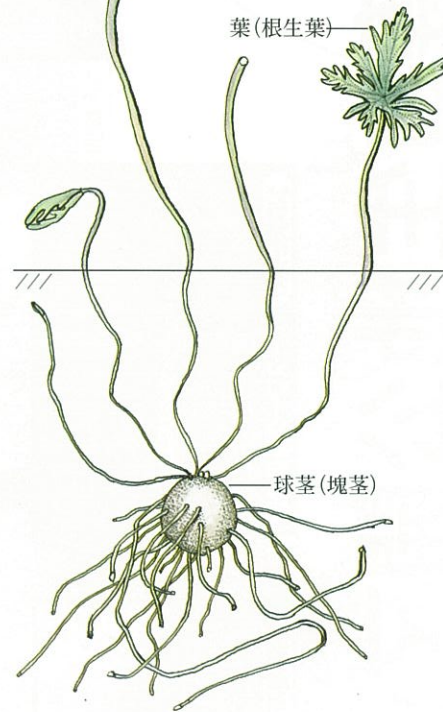
①  
1年生



②  
2年生



③3年生  
(一部開花するものもある)



④  
4年生